

札幌学院大学バリアフリー委員会 バリアフリー通信

手話合宿

9月24、25日の二日間、今年も手話のレベルをアップするために、定山溪ホテルミリオナーで手話合宿が行われました。タイムスケジュールは右表の通りです。



手話合宿タイムスケジュール

1日目	
15:40～	全国ろう学生の集い報告
16:10～	みんなでしゃべり場
18:10～	夕食
20:20～	企画(人数あわせゲーム) (手話でファイブボンバー)
2日目	
07:30～	朝食
08:10～	手話コーラス・手話劇 練習:90分 発表:30分

集い報告&みんなでしゃべり場～1日目昼～

手話合宿が始まり、最初に8月に愛知で行われた「全国ろう学生の集い」に参加した、眞鍋秀之さんと渡辺愛さんの2人からその報告がありました。その後、「みんなでしゃべり場」では、手話についてグループごとに分かれてディスカッションを行いました。まず、「手話をはじめたきっかけ、手話にどんなイメージがあるか」というテーマで話し合いを行いました。その後に学生からの話として、笹綾花さん、渡辺愛さん、下館裕希さんがそれぞれの手話についての話をしました。最後に3人の話を聞いて、「3人の話を聞いた感想、これから手話に関わっていくにあたって」というテーマでもう一度話し合いました。参加者の表情はみんな真剣で、非常に有意義な話し合いをすることが出来ました。(文責 今田拓実)



企画～1日目夜～

人数あわせゲーム

手話合宿最初の企画は、7グループに分かれて「人数あわせゲーム」を行いました。ルールは、まず初めに数字が指定され、指定された数字と当てはまる人数が同じになるような質問を各グループで考えます。その後、グループの代表者が手話で全員に質問し、当てはまる人数が指定された数字に近いほど高得点が与えられます。指定される数字には「30」「4」など様々な数がありました。参加者はできるだけ高得点を狙うため質問作りに苦戦していましたが、笑いは絶えず、楽しい企画になったのではないのでしょうか。(文責 兜いずみ)



手話でファイブボンバー

手話合宿2つ目の企画は、人数あわせゲームと同じグループで「手話でファイブボンバー」を行いました。ルールは1グループ5人で、答えが5つ以上ある問題が出題されます。その問題に1人ずつ指文字や手話、ジェスチャーを使って答えていくというものです。このゲームは、横1列にメンバーが並び制限時間内に1人ずつ答えていくため、もし、5人目の人に順番が回ってこなくてもそこでゲーム終了となってしまいます。また、最後の解答者が正解するとボーナス点が入るため、どのチームも最後の解答者に回そうと必死で答えを考えていました。解答者だけでなく、それを見ている参加者も一緒になって答えを考え、楽しんでいる姿も見られました。



(文責 澤田晴恵)

2日目、手話合宿の最後には手話コーラスと手話劇を行いました。もちろん全て手話で表現します。手話コーラスは一青窈の「ハナミズキ」と今井美樹の「PRIDE」、手話劇は「竹取物語」にユーモアあふれるアレンジを加えて、それぞれ一生懸命取り組みました。限られた練習時間であるにもかかわらず、より良いものにしようと全員が様々な工夫をしたことで、手話コーラスはしんみりと、手話劇は笑いの中で幕を閉じました。思い出に残る出来事になると同時に、手話に触れる大変良い機会になりました。



(文責 小林舞子)

♡ I Love BF ♡



今回の「I love BF」は今年度から新たにバリアフリー委員会に加わった1年生5名（写真の左から社会情報学部眞鍋秀之さん、人文学部小山内翔さん、堀明香里さん、坂本亜侑美さん、西尾舞さん）に、活動を始めてからの半年を振り返ってそれぞれが今感じていることを語っていただきました。

Q. バリアフリー委員会に入って、楽しいと感じたことは？

眞鍋：バリアフリー委員会のみんなと関わるのが楽しいです。

小山内：先輩たちと話しやすいし、楽しいです。また、夏のスポーツ交流会の準備をしましたが、それも楽しかったですね。

西尾：手話合宿の時、司会をして緊張したけど、楽しくてよかったです。また、人と話すのが苦手なのを克服出来てよかったです。

(次ページに続く)

坂本：バリアフリー委員会の先輩は優しくて楽しいです。先日テイク統括部での飲み会に参加して、とても楽しかったです。

堀：バリアフリー委員会に入ったことで、車イス学生の馬場さんと仲良くなることができました。

Q. 入会后、大変だと思ったことは？また、頑張りたいことは？

西尾：後期から本格的に活動に参加し、手話勉強会などでも楽しい企画を考えていきたいです。

小山内：手話を覚えるのが大変ですが・・・頑張ります！また、後期にある冬のスポーツ交流会の企画を考えたいです。

堀：前期はテイクなどの活動していなかったんですけど、後期はパソコンテイクを覚えて活躍したいです。

坂本：私が所属しているテイク統括部では、後期に部長を筆頭に先輩が実習で抜けるので、頑張っってその穴を埋めたいです。

眞鍋：だんだん1年生が活動に参加するようになり、よかったですと思います。後期もテイクを増やすために、積極的に働きかけていきたいです。

Q. バリアフリー委員会に入って「自分、変わったな」と思ったことは？

堀：今までより障がいをもつ人に関わることが多くなり、障がいについて色々考えるようになりました。

小山内：僕も障がいをもつ人に関わることで、福祉に興味を持ちました。



眞鍋：健聴の世界に出ることで、健聴者とコミュニケーションを取れるようになりました。

担当：齊藤友通・山田洸平・小林舞子

♪ 編集後記 ♪

！ 洪谷大介：手話合宿に行っていない人にも楽しさが伝わるといいなあ・・・(*´艸`)わら

！ 浅野麻里：初めての編集作業でした☆楽しかったです！

！ 山田洸平：今回は、記事を作成したり、編集を担当したりと頑張りましたよ。なかなか、良い通信でしょう？はい、頑張りました。

！ 山本由貴：記事の最終確認の仕事をしました。やっぱり手話合宿はいいですね！楽しそうですねっ(・▽・)☆！

！ 小林舞子：手話合宿も編集作業も、1年生がすごく頑張っておられました！引退も間近ですね(^^)にこ！

！ 兜いずみ：手話合宿の楽しさが伝わったら嬉しいです☆-(^ー'*)b

！ 澤田晴恵：後期初発行です！！今回は夏休み中にやった手話合宿が満載です(^.^)☆